

第 44 回理事会議事録

1. 日時 : 2017 年 12 月 15 日 (金) 午後 6 時 30 分～9 時 30 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者:【理事 9 名】 鳩山勝郎、浅越ことみ、大橋正幸、ロバート・ゲラー、
齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、山田和彦、吉田正
【欠席 3 名】 細田博之、伊藤直彦、橋本公二
【監事 2 名】 久保公人、成田秀則
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、
鈴木正人競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長
(理事現在数: 12 名、定足数 7 名、本人出席 9 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 43 回理事会議事録の承認について
議事録案を一部修正の上承認した。

第 2 号議案 平成 30 (2018) 年度予算について

鳩山会長代行より、12 月 1 日に開催した業務執行会議と企画委員会の合同会議で検討を行った来年度予算案について、以下の説明があった。

2018 年度はブリッジフェスティバルの開催年にあたるため、非開催年である 2017 年度と合計した 2 年間での収支均衡予算を目指している。

2018 年度予算案は 1122 万円の赤字予算であるが、アジアカップの派遣費とアジア競技大会の派遣費の助成、および JSC のスポーツ振興基金助成に関しては詳細がまだ見えないため、予算案にその部分の数字を反映させていない。最終的な見込み金額を織り込めば、予算案の赤字額が減少し 2017 年度決算の黒字額と見合うレベルに落ち着くと予測をしている。1 月の理事会でより正確な見通しを報告する。

ブリッジフェスティバルのスポンサーについては、状況待ちのスポンサー候補が 1 社あるため当面は様子見とする。

山田企画委員長より 2017 年度決算については、収入はほぼ予算通りで支出は世界選手権への代表派遣が 1 チームにとどまったこともあり、500 万程度の黒字が期待できるとの見通しが報告された。

予算案については、1 月開催の理事会で検討を行うこととした。

第3号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

山田企画委員長より11月10日開催の企画委員会について報告があった。
国際競技会への代表派遣の件は、その後の状況の変化について代表選抜委員会から説明する。

2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より11月6日開催のセンター協議委員会について報告があった。

3. 代表選抜委員会

大政国際交流事業部長より第3回アジアカップ日本代表の状況について以下の報告があった。

現時点では、レディースが1チーム確定しているが、オープンの追加募集およびシニアの募集に対しては申込みがない状況である。開催地および競技種目については、これまではバングラデシュにオープン、レディース、およびシニアの3チームを派遣することを想定していたが、変更になる可能性があるとの情報を得ている。

代表派遣については、開催地および競技種目に関する正式決定を待ち、その後に対応を検討することとした。

4. 競技委員会

寺本競技委員長より12月6日開催の競技委員会について報告があった。
新規則への対応については、順調に準備が進んでいる旨報告された。

5. ルール委員会

清水ルール委員長よりWBF主催のディレクターセミナーに大政管理部長および貴戸祥郎事務局員の2名を派遣したことが報告され、大政管理部長よりセミナーの研修の様態について報告があった。

新規則の翻訳作業に対する報酬について質問があり、検討を行った。ルール委員会の規則には、ルール委員会の活動の1つとして「WBF作成のルールの和訳を行い、またその監修をすること」と定められ、報酬については「すべて無報酬とする」と規定されている。また、委員に活動の一部を有償で業務委託することに関しては、どこからを有償にするのか切り分けが難しいとの指摘があった。検討の結果、現規則では無報酬が適切であることを確認した。

6. 普及事業部

高野普及事業部長より11月4日、5日に開催された第32回国民文化祭・なら2017および11月29日、12月1日に開催されたアート&ライフマーケット横浜、まちださがみに出展した体験ブースについて報告された。

7. 競技会事業部

鈴木事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

8. 国際交流事業部

高野普及事業部長より JOC への加盟について報告された。

ドーピング検査については競技や大会ごとに異なるため、引き続き情報収集を行うことで対処していく。

JOC の準加盟団体としての認定期間は 2019 年 3 月末までであるが、それ以降の加盟継続には 2018 年アジア競技大会の試合結果が関係すると考えられ、同大会の日本代表選手の育成を求める提案がなされた。2018 年アジア競技大会に向けた短期的な育成、および長期的な視野で行う育成の 2 つのテーマに対して検討を行った。結論として、代表選抜委員会とは別に検討する部門を新たに設け、2018 年アジア競技大会に向けた育成策を検討することとした。清水理事を担当者として原案をまとめ、1 月開催の理事会で方針を決定することとした。

9. 法人・管理部

清水事務局長代行より 11 月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、および月次収支実績について説明があった。

YehBros 杯で約 200 万円の赤字が発生した原因、Yeh 氏との交渉の状況について説明があった。今後の対応について検討を行った結果、Yeh 氏に直接連絡を取り赤字分の負担を求めていくこととした。

2018 年度事業計画書に来年度実施予定の活動として事務局員の顧客満足度の向上を盛り込むことが提案された。1 月開催の企画委員会で検討することとした。

第 4 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2018 年 1 月 26 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布書類： 第 3 号議案 「第 250 回競技委員会議事録」
「競技会事業部報告」

平成 29 年 12 月 15 日（2017 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 44 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 久保 公人

監 事 成田 秀則